



風と緑と太陽



靴を揃えることは心を整えること

校長 大澤 禎一

例年より遅い梅雨入りで、ぐずついた日が続いています。そんな中、学校は子どもたちの笑顔が輝き、元気な声が響いています。梅雨期とはいえ、暑い日が続くこれからの時期、子どもたち自身が熱中症予防を意識して生活することが大切です。保護者の皆様には、熱中症対策として、水分補給用の水筒、登下校時の帽子、場合によっては日傘の使用も併せてご協力いただきますようお願いいたします。

さて、お子様は家に帰ったら玄関で靴を揃えていますか。先日、トイレのスリッパを揃えている子を見かけました。自分のスリッパを次の人が履きやすい向きに揃え、さりげなくそばにあったスリッパも揃えていました。きっと家でも脱いだ靴は揃える習慣が身についているのだらうと思います。靴がきちんと揃えてあるだけで心が落ち着くものです。きっと自分の心も落ち着くのではないのでしょうか。禅語に「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」という言葉があります。「足元を見なさい」という意味で「靴を揃えなさい」と使われますが、自分自身をしっかり顧みて、「他事ばかりに意識を向けずに、自分の足元をよく見よ」「心は乱れてないか、心の余裕はあるか」という教えだそうです。嫌なことがあって帰宅したとき、玄関の靴が揃えてあるだけで気持ちが救われることがあります。自分が脱いだ靴を揃える。そんな行動が自然にできる子を育てたいものです。



7月9日（火）からは個人懇談会が始まります。お子様の学校生活の様子について担任よりお話をさせていただきます。また、お家でのお子様の様子についても情報交換ができればと思います。ご多用とは存じますが、ご出席いただきますようお願いいたします。

しろやま こ
城山っ子のみなさんへ

みなさんは家に帰ったとき、くつをぬぎますね。

そのとき、くつをそろえていますか。

はきものをそろえると 心こころもそろう

心がそろうと はきものもそろう

ぬぐときに そろえておくと

はくときに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら

だまってそろえて おいてあげよう

そうすればきっと 世界中せかいじゅうの人の心ひとも そろうでしょう

(円福寺えんぷくじの和尚おしょうさんの詩から)

はきものをそろえ
ると…。

